

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中 報告日 2021年11月2日

派遣決定番号

## 地域情報化アドバイザー制度活用報告書(2日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

### 1. 申請団体情報

#### 1-1. 申請団体

団体名	飯塚市	代表者名	片峯 誠
担当者部署	総務部	連絡先電話番号	0948-22-5500
担当者役職	主任	担当者氏名	川畑 夏希
住所	820-8501 福岡県飯塚市新立岩5-5		

#### 1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

### 2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	森戸 裕一
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	非常に説得力のある講義をしていただけたと感じております。DXの真実、業務改革、EBPM、オープンデータ、タイムマネジメント等についてお話しいただき、受講した職員も今回の研修がデジタル化を意識するきっかけになったと思います。
アドバイザーへの要望事項	特になし

### 3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2021年10月27日	10時00分	16時00分	60	300
3-2. 派遣場所	会場名	飯塚市役所		最寄駅	-
	所在地	福岡県飯塚市新立岩5-5		最寄駅からの交通手段	徒歩
	派遣形態	講演(実地)			

### 4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可
------	--------------------------------------

### 5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	職員(管理監督職、情報政策課、人事課)	47人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	自治体DXに取り組むにあたり、職員のデジタルマインドが低い状態にあり、「デジタル化することにより、電子とアナログの処理があり職員の負担が増える」、「何をデジタル化すればよいか分からない」といった声もあり、業務のデジタル化を推進するにあたり、非常に苦慮している。また、これまでアナログで行ってきた業務をデジタル化すると、進め方やそれに取り組む労力に対して、デジタル化が非常に毛嫌いされている傾向がある。	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	職員のデジタルマインドの醸成やDXに取り組む重要性を意識し、庁内業務や市内のDXのきっかけとする。	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	DX、デジタル技術を取り入れることによる業務改革、データから見る政策立案の必要性、デジタルトランスフォーメーションを踏まえたマネジメントへの変革の必要性、広報戦略(自治体の実施しているデジタル化を外部にアピールする)重要性等を研修していただいた。	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	これまで「デジタルトランスフォーメーション」のような横文字やアナログで行ってきた業務をデジタル化にすることが毛嫌いされていたが、なぜ今デジタル化が必要なのか、デジタルトランスフォーメーションとはいったい何なのか、デジタルトランスフォーメーションを踏まえた管理監督職がすべきマネジメントへの意識の変容があったと感じられる。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑦その他 デジタルトランスフォーメーション、デジタル化への職員意識(アンケート集計結果を参照)
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください)	今回研修を受けた職員は一部であり、全庁的な職員の意識改革を今後も実施する必要がある。具体的な事例は出たが、ごく一部であり、職員が従事している業務へのイメージが湧かない職員もいたため、今後どのように書く職員の業務まで落とし込み、各職員が自発的にデジタルトランスフォーメーションを市民サービスへ反映させるかを検討する必要がある。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 これまでデジタル化への姿勢が後ろ向きだったが、研修を受講することによりその必要性を感じている職員が多かった。「デジタル技術の導入」について、研修前後での職員の感想から「非常に重要だと思う」増減率100%、「デジタル化のメリットを多く見出している」増減率76.9%、「市民にとって行政サービスを受ける選択肢が増えるのでよいと思う」増減率233.3%と意識の変化が見られる。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	②次年度に予算化を図り推進する
事業の最終的な目指す姿	庁内業務や市民サービス、市内のデジタルトランスフォーメーション化。	

## 6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。



※コロナ対策で密を避けるため、本庁以外の職員はオンラインで出席しております。  
こちらのハードコピーはホームページへの掲載はお控えください。